五島市立本山小学校 校長 川崎 康

令和5年度 第2回 学校評価集計結果について

寒冷の候 皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

12月に実施しました第2回学校評価の実施結果を公開します。

今後、第1回目と第2回目の学校評価の結果を生かして、改善を加えながら、4つの心「自主・友愛・練磨・勤労」 の育成を目指していきます。御支援よろしくお願いいたします。

□学校評価集計(2学期)

※4件法による平均値

| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 校 ⑤ | 心 ⑥ | めつ | 8 | ケ ⑨ | 10 | 11) | び 12 | 13) | 14) | 全 |
|-----|----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 7 | 1 | 7 | 7 | 楽 | 安 | 伸長 | 基 | Ι⊐ | 英 | 家 | 運 | 情 | あ | 体 |
| | | 自 | 友 | 錬 | 勤 | L | 全 | ば所 | 礎 | シミ | 語 | 庭 | 動 | 報 | い | |
| | | 主 | 愛 | 磨 | 労 | い | | すを | 学 | 3 ユ | | 学 | • | 公 | さ | 平 |
| | | 1 | 1 | 1 | 1 | 学 | 安 | 認 | 力 | ンニ | | 習 | 遊 | 開 | つ | 均 |
| 児 | 児童平均 | 3.33 | 3.60 | 3.41 | 3.44 | 3.67 | 3.67 | 3.54 | 3.43 | 3.28 | 3.68 | 3.66 | 3.40 | 3.53 | 3.61 | 3.52 |
| 童 | 4と3の数を合 計した達成率 | 92% | 96% | 91% | 89% | 94% | 93% | 95% | 91% | 90% | 95% | 94% | 83% | 91% | 95% | 92% |
| 保護者 | 保護者平均 | 3.23 | 3.48 | 3.23 | 3.41 | 3.59 | 3.73 | 3.65 | 3.33 | 3.28 | 3.59 | 3.51 | 3.37 | 3.79 | 3.53 | 3.48 |
| | 4 と 3 の数を合 計した達成率 | 95% | 97% | 90% | 98% | 95% | 99% | 98% | 92% | 93% | 98% | 98% | 84% | 100% | 97% | 95% |
| 教職員 | 教職員平均 | 3.62 | 3.69 | 3.62 | 3.62 | 3.54 | 3.69 | 3.69 | 3.50 | 3.33 | 3.50 | 3.38 | 3.27 | 3.50 | 3.38 | 3.52 |
| | 4 と 3 の数を合 計した達成率 | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 91% | 100% | #### | 99% |

□成果

- 全体的に高い値を保っています。特に保護者、教職員は全体平均が向上しました。(児童の平均は1学期と同じ)
- 「友愛 | 「楽しい学校 | 「安全・安心 | などの値が高く、安定した学校生活を送れていると思われます。
- 「家庭学習」について、児童・保護者ともに向上しています。ご家庭のご協力により、子どもたちの自主学習能力の 高まりを感じます。子どもたちの力を更に伸ばせるよう、引き続き家庭との連携を図りながら取り組んでまいります。

□課題

△ 児童の「自主」の値が下がっています。学校において、自分で考え行動する機会を増やす必要性があります。 △ 三者とも「コミュニケーション」が比較的低い値となりました。子どもたちにとっては、自分の気持ちや意見をうま く伝えることが苦手な子も多くいます。児童間の言葉によるトラブルも見受けられます。授業中はもとより、日常生活 においても適切な言葉を選びながら表現力を高める指導が必要であると考えます。

◇3学期に全校で取り組むこと

学力向上プランの継続指導 3 学期の学校経営方針 ○授業でこれだけは ○ 毎月の生活目標を各学級で方策を立て達成する ・主体的に学習する授業展開を意識する。 ○ 学力向上(授業改善と学力の定着) ・授業の終末に適用題を解く時間を確保し、全員が学習内容を確実に身に付ける。 ・注目すべき図や言葉に印をつけ、児童が題意や定義・性質を理解できるようにす ○「友愛のことば」で話す る。 ○授業以外でこれだけは ・3~6年生は、スキルタイム、授業の習熟の時間、家庭学習を使って、週に2回、 ※友愛の言葉で話すとは、言葉によるトラブルが多かった反省を 算数科の活用問題に取り組む。(ゆめあこプリント、県学・全学の過去問を使って) 受け、適切な言葉を選びながらコミュニケーションを図る指導に ・1, 2年生は、授業の習熟の時間、家庭学習等を使って週1回、文章問題に取り組 力を入れていきます。